

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -1

4-
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	来訪者の保全意識の啓発
	節	来訪者マナーの醸成		
事業(施策)名	1 見学マナーの啓発		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】	構成資産の保全のため、来訪者による構成資産へのき損や落書き、遺物・鉱石等の持帰り等がないよう、来訪者の保全意識の啓発を図る。		
	【事業内容】	来訪者の保全意識を高めるため、注意喚起を目的としたサインの設置を行うとともに、構成資産を見学する際の来訪者マナーについて普及啓発活動を行う。		
⑨ 事業計画と実績	【29年度計画】	来訪者のマナー醸成に向けて、一般向けの周知チラシ(見学の際のマナー、危険箇所における注意喚起について書かれたもの)を20,000部作成する。		
	【29年度実績】	一般向けの周知チラシ(見学の際のマナー、危険箇所における注意喚起について書かれたもの)を20,000部作成した。		
課題・今後の課題	【課題】	来訪者へ見学マナーの周知徹底を図る必要がある。 構成資産が広範囲に分布することから、効果的な箇所にサインを設置する必要がある。		
	【今後の取組】	平成30年度に今年度作成したチラシを佐渡汽船両津港ターミナルなどに設置し、また、旅行社等に配付することにより、見学マナーの周知徹底を図る。 現地等の効果的な箇所にサインを設置するため、関係者と協議する。		
事業評価	【事業の達成度】 (a ● b · c)	計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 今後も関係者と協議をしながら周知・徹底を図る。		
	【事業実施の効果】 (a ● b · c)			
	【総合評価】 (A ● B · C)			

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。

82